

判断(2):君ならどうする?

国家試験で種々のヘルニアを覚えてもらう。人の名前の付いたヘルニアとその場所を覚えるのには、閉口したでしょう。

臨床では、ヘルニアをあなたなどってはいけない。特に閉鎖孔ヘルニアは、外観上わかりづらい。疑ってCTなど取れる時間帯ならいいが、救急外来で見たら君ならどうする?

そして、困難なケースを経験したらそれを多くの仲間と共有できる「症例報告」を書く努力を惜しまずやろう?

11年前の国家試験問題

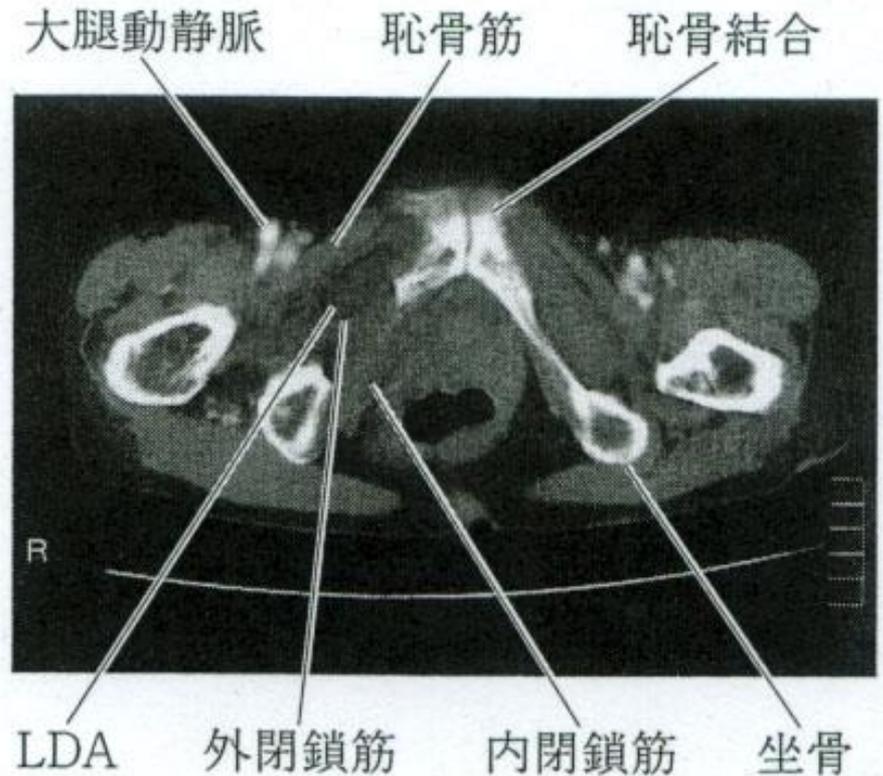
99A-30 77歳の女性。今朝から腹痛と右大腿内側痛が出現したので来院した。昨夜より悪心と嘔吐が続いている。26歳のときに帝王切開術の既往がある。腹部はやや膨隆し、腸雑音の亢進を認める。肝脾は触知しない。血液所見：赤血球378万、Hb 10.8g/dL、Ht 34%、白血球8100、血小板17万。血清生化学所見：総蛋白6.2g/dL、アルブミン3.0g/dL。AST 30単位、ALT 25単位、LDH 410単位（基準176～353）、ALP 230単位（基準260以下）。CRP 2.5mg/dL。骨盤部造影CT（別冊No.17）を別に示す。

最も考えられるのはどれか。

- a 臍ヘルニア
- b 鼠径ヘルニア
- c 大腿ヘルニア
- d 閉鎖孔ヘルニア
- e 腹壁癒痕ヘルニア

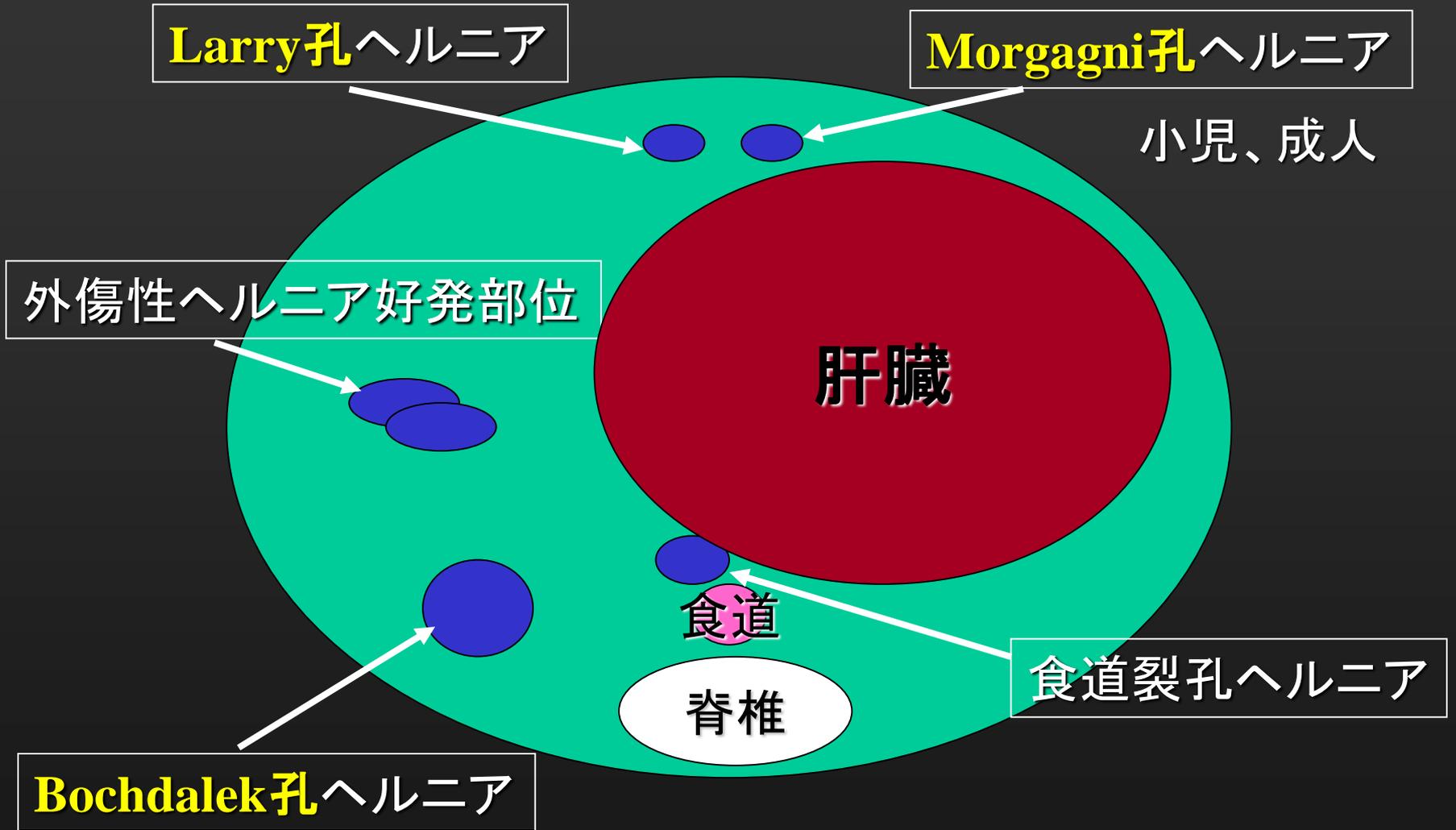
別冊
No.17 写真

恥骨と坐骨の間のLDA(low density area)を読ませている問題



Dr Kの覚え方

図で覚えよう横隔膜ヘルニアの名前



小児

(頭側より見たもの)

経験した症例は「手術」に報告してある。

しかし掲載画像は、白黒であり、君らにカラーで紹介しよう

手術 第45巻 第8号 1991



重症腹膜炎を生じた、
閉鎖孔ヘルニアの1治験例

小林英司* 藤巻 尚** 瀬賀弘之*³ 後藤俊夫*³
阿部昌洋*³ 太田一寿*⁴ 親松 学*⁴ 石川 巖*⁵

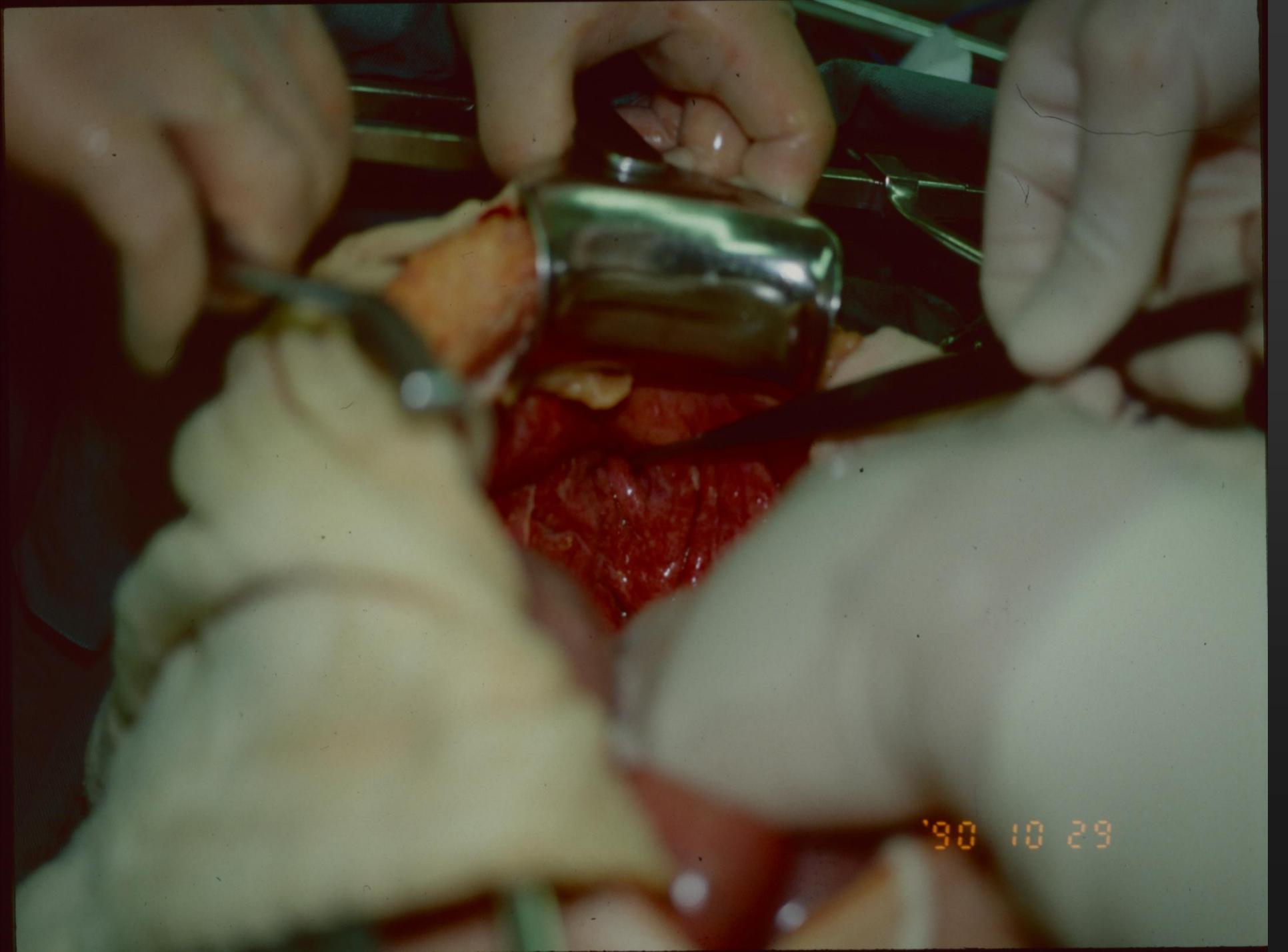
症 例：78歳，男性

主 訴：嘔吐・腹痛

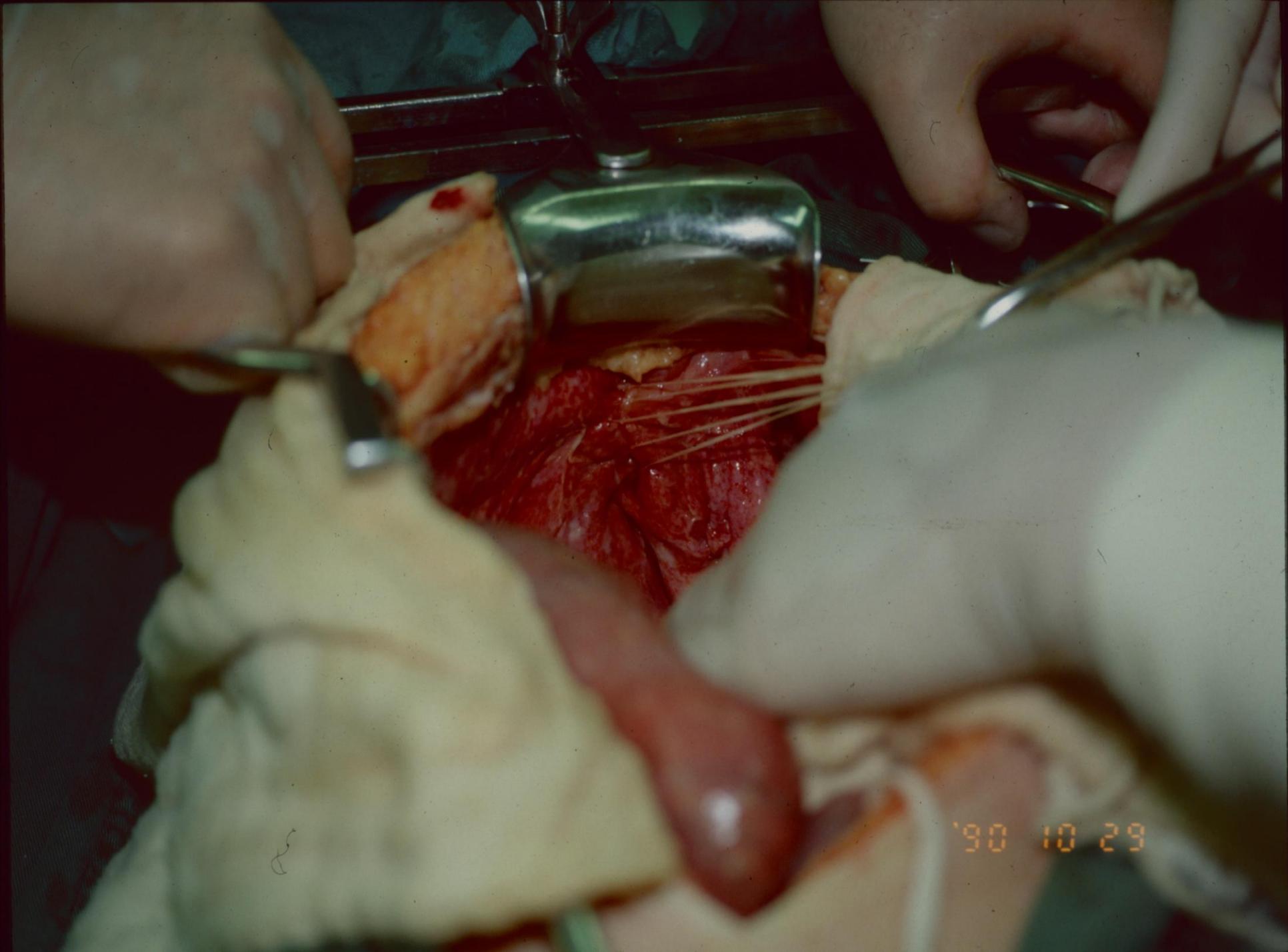
既往歴：近医より高血圧・糖尿病の内服治療を受けていた。

現病歴：2～3日前よりときおり腹痛があったが自制可能であり，毎日排便もあった。平成2年10月28日散歩中よろけて転倒した。その後しだいに腹痛が増強してきた。翌29日近医より往診を受け，外傷性消化管穿孔による腹膜炎を疑われ当院を紹介された。





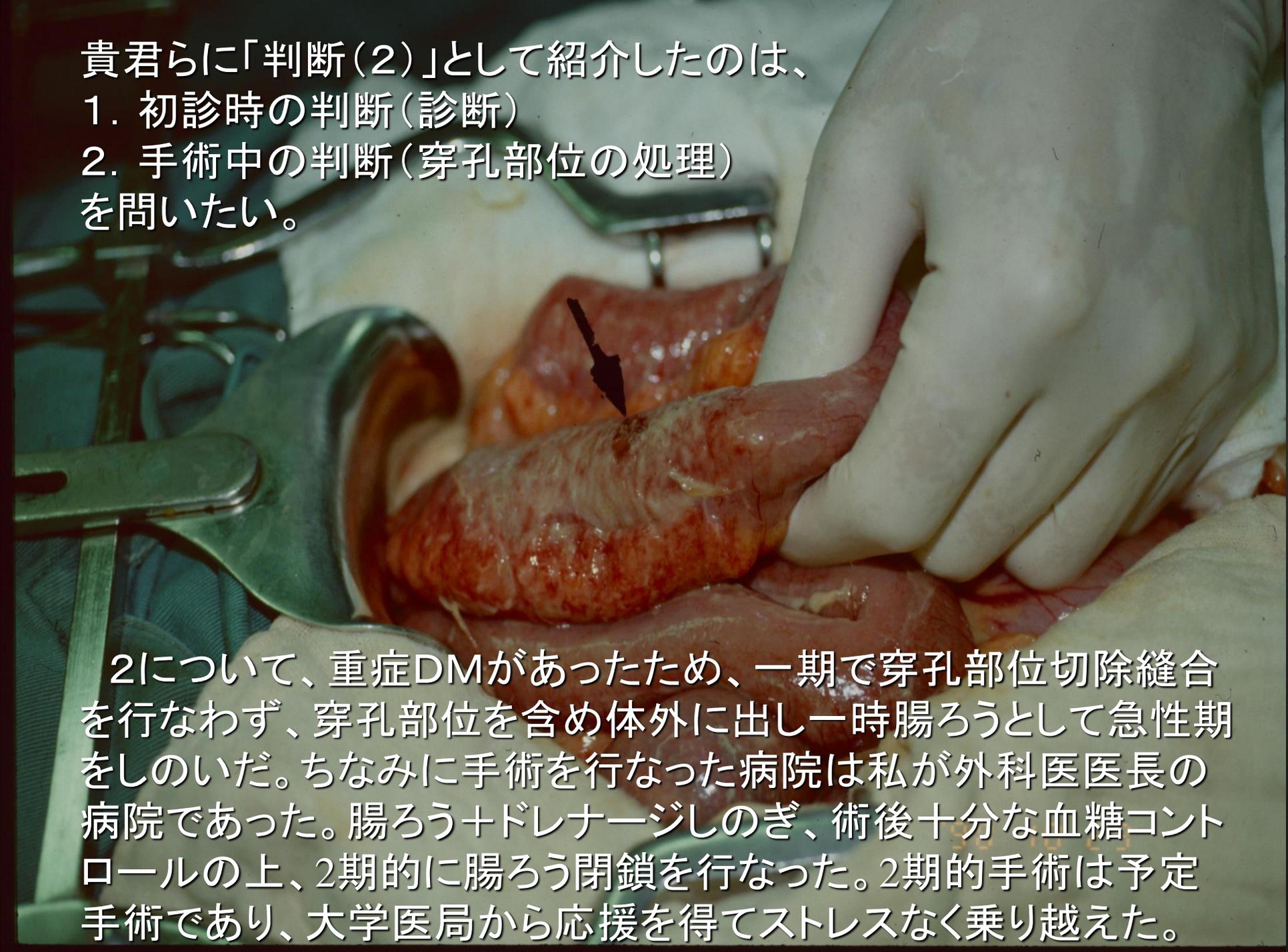
'90 10 29



'90 10 29

貴君らに「判断(2)」として紹介したのは、

1. 初診時の判断(診断)
 2. 手術中の判断(穿孔部位の処理)
- を問いたい。



2について、重症DMがあったため、一期で穿孔部位切除縫合を行わず、穿孔部位を含め体外に出し一時腸ろうとして急性期をしのいだ。ちなみに手術を行なった病院は私が外科医医長の病院であった。腸ろう+ドレナージしのぎ、術後十分な血糖コントロールの上、2期的に腸ろう閉鎖を行なった。2期的手術は予定手術であり、大学医局から応援を得てストレスなく乗り越えた。